

ワークショップの参加者を募集します

●対象

- 下記の2点のどちらにも該当する方
- ・高校生以上で、石山・東石山地域に在住の方
 - ・まちづくりについて興味・関心があり、可能な限り全ての回のワークショップに参加できる方

●募集人数

- 若干名
- ・応募多数の場合、応募理由などを考慮し選出します。
 - ・ワークショップ参加に伴う報酬、交通費などの支給はありません。
 - ・ワークショップには公募による参加のほかに、各種団体などから推薦を受けた方も参加します。

●ワークショップ開催日

- 第1回ワークショップ
日時：令和6年3月2日（土） 午後1時30分から午後4時30分（3時間程度を予定）
会場：石山地区公民館 4階 ホール
内容：ワークショップの進め方、地域課題の整理・前提条件の確認 など
- 今後の予定
・概ね3ヶ月おきに計5回のワークショップを実施する予定です。
・第2回目以降のワークショップの開催日程や会場は第1回ワークショップにてお伝えします。
※ワークショップの進捗によっては開催間隔や回数、検討内容などが変更となる場合があります。

●応募方法

- ・応募用紙に必要事項を記入の上、令和6年2月9日（金）までに郵送（期限までに必着）、ファックス、電子メールまたは持参で下記の申し込み先に提出してください。
 - ・選出結果は令和6年2月16日（金）までにご案内します。
 - ・いただいた個人情報は、ワークショップ実施のために使用し、その他の目的には使用しません。
- 郵 送：〒950-8709 東区役所地域課 企画・地域振興グループ（住所の記載は不要です）
ファックス：025-271-8131
電子メール：件名「石山・東石山地域ワークショップ参加希望」と下記の応募用紙と同様の内容を記載の上、《chiiki.e@city.niigata.lg.jp》にお送りください。
持 参：東区役所1階 地域課 企画・地域振興グループ(44番窓口)

●お問い合わせ先

石山・東石山地域実行計画コミュニケーション事務局
東区地域課：025-250-2120 財務部財産活用課：025-226-2387



き り と り

石山・東石山地域ワークショップ応募用紙

ふりがな		年 齢	歳
氏 名		電話番号	- -
住 所	〒 - -		
応募理由			

一緒に考えませんか？公共施設のこれからを／ 石山・東石山地域のまちづくり



<発行者>石山・東石山地域実行計画コミュニケーション事務局 令和6年1月発行
(東区地域課：025-250-2120 財務部財産活用課：025-226-2387)

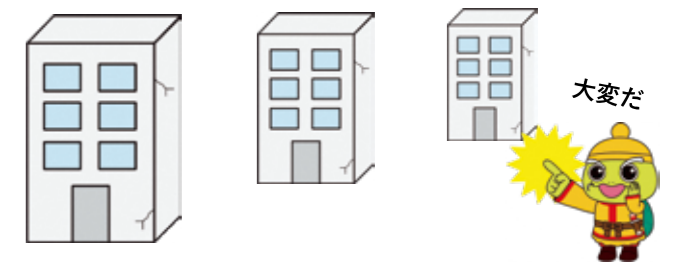
少子超高齢化社会などに対応し、今後必要な施設の役割を考え、将来世代に過度な負担とならないように公共施設等の効率的な管理・利活用を図っていくための方針を定めた「財産経営推進計画」。
この計画に基づき、地域の身近な公共施設について地域のみなさんと市が協働で、未来のあり方について検討していきます。

なんで公共施設のあり方について検討するの？

公共施設がむかえている課題

老朽化する施設が増えていく

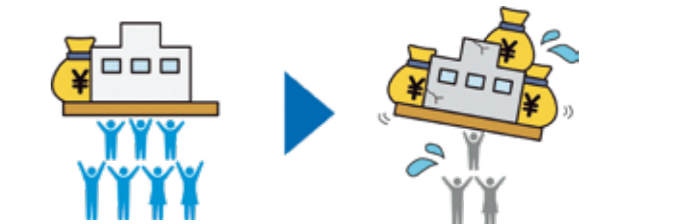
建物や設備は定期的にメンテナンスをしなければ、壊れて使えなくなってしまいます。
市でも次々と古くなる施設への対応が迫られていきます。



老朽化する施設が増え、管理にお金がかかる

今後も市の人口は減っていく見込み

この先も少子・超高齢化に伴う人口減少や年齢構成の変化により、必要とされる公共施設も変わってくるかもしれません。



公共施設とサービスを全て維持することが困難

公共施設のあり方を見直すために

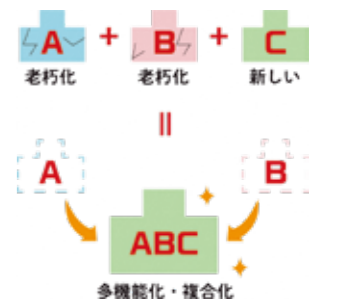
公共施設が迎えている課題に対応するため、2つの基本的な方針を定めています。
この基本方針に沿いながら、地域のみなさんとの話し合いなどを通じて一緒に石山・東石山地域の具体的な公共施設の見直し計画を作ります。

2つの基本的な方針

公共施設の総量削減

サービス機能の維持

人口減少や年齢構成の変化などを踏まえ、利用状況や求められるサービスに見合った施設の見直しなどを行いながら、施設にかかる費用を削減します。
また、施設の多機能化・複合化などにより、施設数は減らしても、スペースの有効活用などによりサービス機能を可能な限り維持します。



どうして石山・東石山地域で検討するの？

石山・東石山地域では、地域の活動拠点となる石山地区センター（地区公民館、出張所など）が大規模な改修の目安となる築40年を超え、地域の公共施設が果たしている役割を改めて見直し、今後の公共施設のあり方について検討する時期がきています。

また、越後石山駅周辺の整備が進められている中で、駅前の様子がこれから大きく変わる予定です。まちの様子が変わる機会に併せて、周辺の公共施設のあり方とまちづくりの方向性を地域のみなさんと話し合いながら、よりよい地域のまちづくりを進めたいと考えています。

どうやって地域別の「実行計画」の検討を進めるの？

地域のみなさんの意見をもとに計画を策定します

石山中学校区と東石山中学校区の地域が一緒となり、地域のみなさんと協働で公共施設の将来のあり方を示す石山・東石山地域の実行計画（公共施設の配置計画）を策定します。

この実行計画を策定する上で、地域のみなさんのご意見を反映する主な3つの手法をご紹介します。

地域の意見を反映するための3つの手法

●ワークショップ



参加者が意見やアイデアを出し合い、話し合いながらその成果をまとめあげていく検討方法がワークショップです。参加者はいくつかのグループに分かれ、ファシリテーターと呼ばれる専門の司会者の進行で、年齢・性別などに関係なく対等な立場で意見交換を行います。

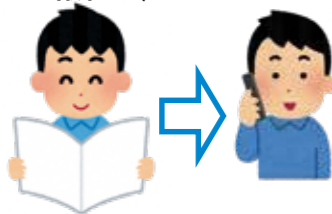
今回のワークショップは、石山・東石山地域でコミュニティ活動をしている方や、公共施設利用団体の方のほか、公募によるメンバーなど多様な地域の方により構成されます。

ワークショップの参加者は40名程度を予定しています。

ワークショップ参加者を募集しています

地域のさまざまな方からご意見をいただくために、ワークショップの参加者を募集します。詳しくは4ページをご覧ください。

●広報紙（ニューズレター）



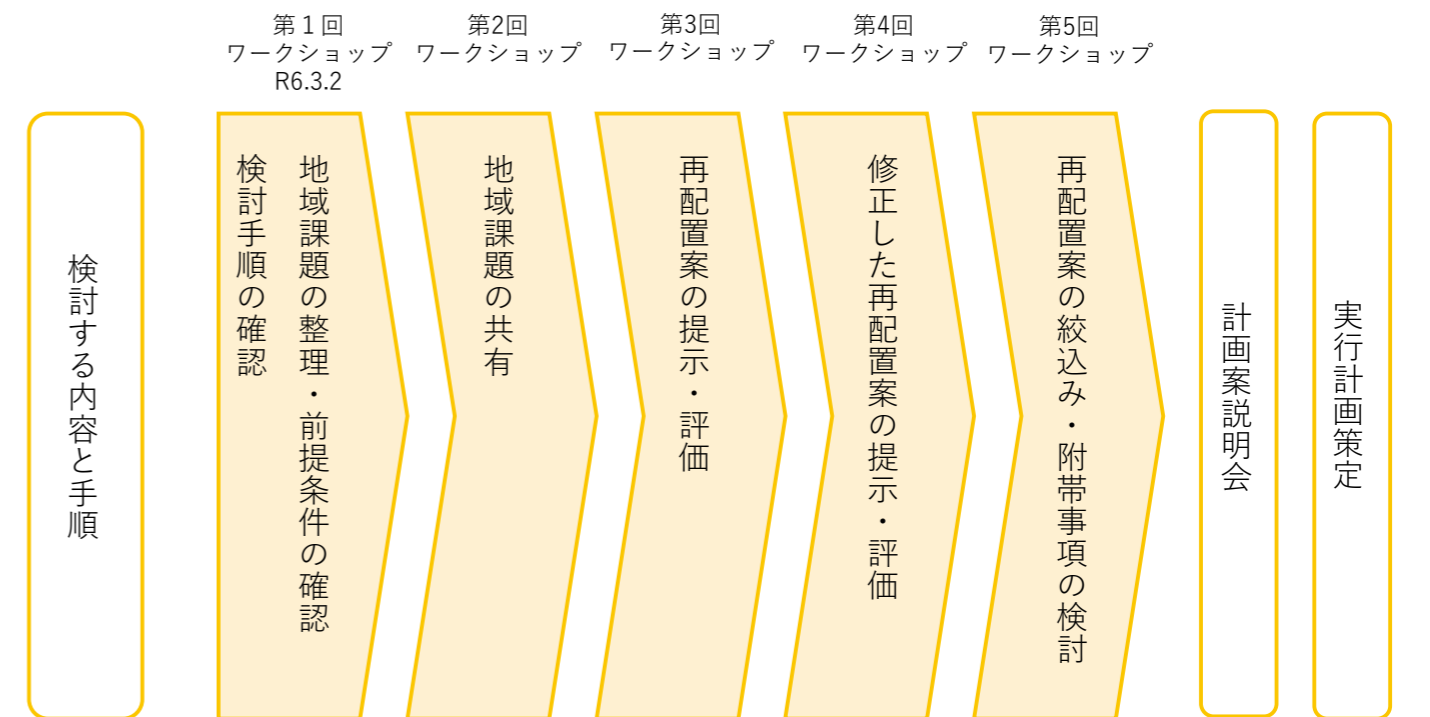
ワークショップに参加していない地域のみなさんに、ワークショップの検討内容をお伝えし、地域のご意見を募集します。各ワークショップ開催後に発行する広報紙をご覧ください、ぜひご意見ください。

●パネル展示型説明会（オープンハウス）

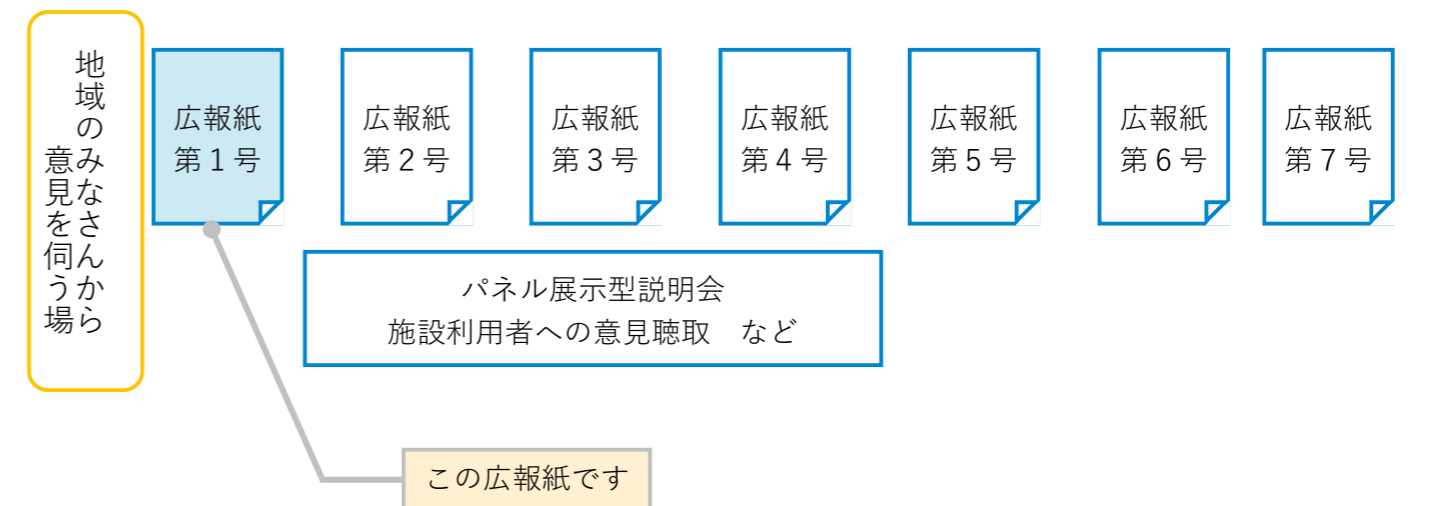
ワークショップなどでの検討の内容を示したパネルを地域のみなさんが立ち寄る施設に展示し、立ち寄られたみなさんに詳しい状況をお伝えするパネル展示型説明会の実施のほか、施設の利用者に検討内容を説明し、みなさまからご意見を伺う機会を設けます。



地域別実行計画の策定までの流れ



※開催間隔や回数、検討内容は進捗によって変更となる場合があります。



これまでも地域のみなさんと一緒に地域別の「実行計画」を策定してきました。

市は地域のみなさんと協働で、地域単位で公共施設の未来のあり方を検討し、具体的な地域別の「実行計画」を策定してきました。

中学校区を基本とした55の地域ごとに、老朽化した施設が多い地域や公共施設に動きのある地域などから順次策定に着手しており、これまでに5地域の実行計画が策定されました。



これまでに、5地域で「実行計画」が策定されました。
取り組みは右の二次元コードから確認できます。

